



里山広葉樹活用シンポジウム～里山広葉樹のバリューチェーンの構築に向けて～  
の開催について

ポイント

- ・森林総合研究所関西支所では、これまで近畿中国森林管理局と連携し、各種の試験研究を行ってきました。その中で「里山広葉樹の活用」に関する成果と課題について、近畿中国森林管理局とシンポジウムを開催し、広く森林・林業関係者に報告するとともに、民有林関係者と国有林技術者並びに森林総合研究所関西支所等の研究者が、意見交換を行います。
- ・日時：平成30年3月23日（金）13時30分～17時00分
- ・場所：近畿中国森林管理局 4階 大会議室（大阪市北区天満橋1丁目8番75号）

近畿中国森林管理局と森林総合研究所関西支所は、平成25年8月1日に「近畿及び中国地域の森林・林業に関する研究と技術開発等の円滑な促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結し、連携・協力しながら、近畿及び中国地域の森林・林業の課題解決に向けた研究と技術開発、成果の普及を図っています。

このたび、「里山広葉樹の活用」に関する森林総合研究所及び近畿中国森林管理局の試験・研究の成果について、広く森林・林業関係者に報告するとともに、民有林関係者と国有林技術者並びに森林総合研究所関西支所等の研究者が、意見交換を行うシンポジウムを、下記により開催することとなりました。

このシンポジウムは、近畿及び中国地域の林業の活性化に必要な課題解決に向けた、成果の普及と定着の促進を図ることを目的としております。

記

- 【行事のタイトル】 里山広葉樹活用シンポジウム  
～里山広葉樹のバリューチェーンの構築に向けて～
- 【主催】 近畿中国森林管理局  
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所
- 【開催日時】 平成30年3月23日（金） 13時30分～17時00分
- 【会場】 近畿中国森林管理局 4階 大会議室（大阪市北区天満橋1丁目8番75号）

問い合わせ先など

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所 支所長 松本光朗  
広報担当者：森林総合研究所関西支所 産学官民連携推進調整監 家原敏郎  
問い合わせ先：森林総合研究所関西支所 地域連携推進室長 高橋幸三  
Tel：075-611-1201（代） Fax：075-611-1207

本資料は、京都府記者クラブに配布しています。

## 背景・経緯

近畿及び中国地域(2府12県)の森林資源は、戦後造成されたスギ・ヒノキ人工林を中心に充実してきていますが、あわせて広葉樹林の資源も豊かになってきました。これらの広葉樹林は、以前は薪炭材やパルプ材として利用されましたが、現在はそういった利用も減少しています。その結果、近年では広葉樹林が放置され、資源が充実する一方で立木の大径化やそれに伴うナラ枯れ被害、倒木による家屋等への被害といった問題が生じています。

近年、家具用の広葉樹材が北日本で減少し、海外においても枯渇ぎみで輸入しづらくなってきていることから、国内の広葉樹材の需要が高まってきました。木質バイオマス利用も広葉樹需要を後押ししています。この状況に対応し、近畿及び中国地域においても里山の広葉樹を利用していこうという動きが出始めています。

## 内容・意義

こうした中、森林総合研究所関西支所では、これまで里山や広葉樹関連の研究を実施し、現在も交付金プロジェクト研究「広葉樹も多い中山間地で未利用資源をむだなく循環利用する方策の提案」を実施しているところです。このたび、「里山広葉樹の活用」をテーマに掲げ、森林総合研究所関西支所等における関連する研究及び近畿中国森林管理局の里山広葉樹プロジェクトの成果や、林業等の現場での取り組みを、広く森林・林業関係者に報告するとともに、民有林関係者と国有林技術者並びに森林総合研究所関西支所等の研究者が、意見交換を行います。

本シンポジウムを通じ、試験研究の成果や、近畿中国地方における広葉樹の利用に関する川上（森林所有者、素材生産者）、川中（原木市場、製材工場）、川下（家具、内装その他最終製品製造者）の情報及び課題を共有することにより、近畿中国地方における広葉樹資源のバリューチェーン創造の可能性を探ることを目的とします。

里山広葉樹活用シンポジウム  
～里山広葉樹のバリューチェーンの構築に向けて～

主 催

近畿中国森林管理局

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所関西支所

開 会

挨 拶：近畿中国森林管理局

趣旨説明：近畿中国森林管理局

第1部 プロジェクトの報告

- ・里山広葉樹活用プロジェクトの概要と経過報告 近畿中国森林管理局
- ・森林総研広葉樹プロジェクトの報告  
～国内広葉樹資源の需給実態と地域資源の活用に向けた対応～
- ・森林総研関西支所広葉樹プロジェクトの報告  
～近畿圏における広葉樹資源の需給実態の把握～

第2部 川上からの報告

- ・管内国有林の広葉樹資源のポテンシャル
- ・鳥取県日南地域における広葉樹施業の展望

第3部 川中・川下からの報告

- ・地元広葉樹の活用
- ・外材から国産材へ：広葉樹製材需要の動向

第4部 パネルディスカッション：テーマ「広葉樹のバリューチェーンを構築するために」

モデレーター：森林総合研究所

パネリスト：日南町森林組合

森林総合関西支所

近畿中国森林管理局ほか

ま と め：森林総合研究所関西支所

※参加申込み

団体名、代表者の住所と連絡先（Eメール）、参加者全員の所属、氏名を添えて、EメールまたはFAXで、近畿中国森林管理局技術普及課までお申し込みください。定員（100名）になり次第締め切りますのであらかじめご了承ください。

Eメール kc\_fukyu@maff.go.jp FAX 06-6881-2055